

2004 ぐすのき

VOL. 15

樟
樹

樟樹会 新宿区立西馬子学校同窓会

校内こんなところ(こと)ご存じですか？

第

5

回

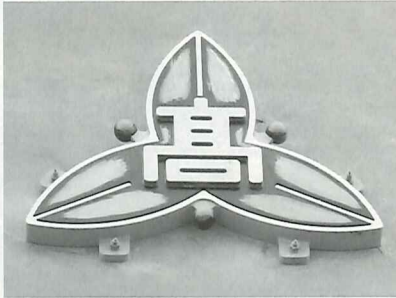
新しくなった 西高のシンボルマーク

母校の正門に立ち、見上げると、そこには、真新しい堂々たる校章が設置されています。西高昭和55年卒業の藤田秀一郎さん(株藤田製作所社長)からの寄贈です。

これは铸件(いもの)と呼ばれる铸造品で、木型製作→砂型造型→型合せ→溶解→注湯→解砕→研磨→手入れ→塗装と、さまざまな工程を経て出来上がった大変高価なものです。簡単に言えば、砂の中に溶けた鉄を流し込んで作るもので、奈良の大仏様も基本的には同様の作り方だそうです。

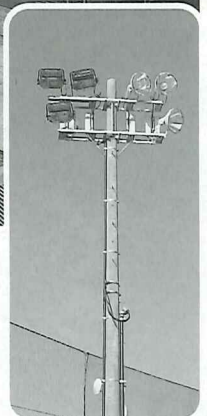
藤原校長先生が、「西高の生徒が元気でたくましく成長するよう、また地域を代表する進学校となること」を願いながら「注湯」(溶けた鉄を砂型の空間に流し込む)の作業をなさったそうです。

記念会館ロビーにはレブリカを設置していますので、ご覧ください。



グラウンドに灯が灯る

母校のグラウンドに立派な夜間照明が設置されました。体育文化育成会から、サッカー部が全国大会へ出場する時に募った浄財の残金(約1千万円)を原資にして建設寄贈されたものです。日没後には部活動は終了し、使われなかったグラウンドですが、これからはサッカー部や野球部の練習は無難のこと、定時制の体育授業にも多に役立つことでしょう。



つ さ い あ 長 会

すばらしい歴史を持つ新居浜西高同窓会 “樟樹会”

樟樹会会長 畑田 雅敏 (昭和44年)

校庭の満開の椿寒桜に見送られ、平成15年度378名の卒業生が厳肅なる卒業式の後、この学び舎を巣立ってゆきました。

P T A会長に就任して3年間お世話させていただきました。と言うよりも感動と勉強をさせていただいた。と言うほうが正しいと感じております。

わずか数週間の練習で、一糸乱れぬ機敏な動作と、素晴らしい振り付けを披露した運動会の応援合戦。4チームいずれも甲乙つけがたく採点に戸惑いました。又、厳肅な式典の後、卒業生徒による三年間の思い出セレモニーも年々充実され、卒業生、先生、保護者の間にはあちらこちらで涙をすすする音

がし、目頭の熱くならなかった人はいない、大変感動的な卒業式でした。素晴らしい卒業生を送り続けている新居浜西高等学校は、OB・OGの方々のこれまでの努力が伝統となり、そして校風となり受け継がれてきていると、歴史の重さを痛感させられました。

この4月からは、3年間務めさせていただいたP T A会長を卒業させていただきます、新任の同窓会長を務めさせていただきますこととなりました。とは申し上げましても8月の総会にて承認されたからが正式でございます。

前任の長野文彦会長さんは、皆さんご存知のとおり6年間に亘り務められ、より充実した同窓会へと活躍されました。後任としてこのような大役を、若輩者の私が務めることが出来るだろうかと不安ではございますが、任された以上力いっぱい務めさせていただきます。

同窓会活動は、4月から始まりますので、総会での正式承認を受けないまま活動を続けさせていただいておりま

す。なにぶん不慣れなこともありまして、役員さんには、昨年同様のメンバーでお願いし、行事も前会長の行事を継承して行つてまいります。

毎年7月に配布しております同窓会誌「樟樹」の発行。2004年10月26日に行われます、西高祭におけるたこ焼き販売などのお手伝い。一番の行事でもあります、2004年8月7日

(土曜日)に開催される同窓会総会・懇親会の会場はユアーズで行われます。昨年同様OB・OGの方々の多数のご参加をお待ちしております。そして来る2006年印刷予定の同窓会名簿発行に關しては是非など、今から取り組まなければならないさまざまな事がありますので、皆様のご意見を拝聴しながら、役員の方々と協議を重ね、より良い同窓会活動が行われるよう尽力する所存でございます。

どうか、今まで同様のご指導ご鞭撻をお願いいたしまして、新任会長としての挨拶とさせていただきます。



東和工業株式会社

代表取締役社長 神野 勝太 (昭和37年卒)

〒792-0011 愛媛県新居浜市西原町2丁目7番38号
 電話 (0897) (代) 33-8306番
 FAX (0897) 33-8151番
 E-mailアドレス touwa-f@sky.quolia.com

同窓生紹介

「新居浜の思い出」



Profile

村上 健治

(むらかみ けんじ)

昭和41年 普通科卒

昭和45年 立命館大学産業社会学部卒

大和ハウス工業株式会社入社

平成16年 同社代表取締役社長就任

本年4月に大和ハウス工業株式会社の社長に就任して以来、分刻みのスケジュールを、まさに息もつかせぬ忙しさの中で走り回っている。そんな折、母校新居浜西高の同窓会事務局より寄稿の依頼とともに「樟樹」が送られてきた。故郷新居浜から家族ともども離れて久しく、非常に懐かしい気持ちで読ませていただいた。

そういえば、このところ忙し過ぎて昔を振り返る余裕もなかったな、などと、ふと気づけば心が新居浜時代に飛んでいる自分に気づいた。これを機に、暫く自分の青春時代に思いを馳せてみるのもいいかもしれない…。

絢爛豪華で、勇壮な太鼓祭りが今尚、脳裏に焼きついて離れず、その時期が来れば何故か心躍る思いがする新居浜。住友城下町新居浜。そのような環境で伸び伸びと育ったが、高校時代の私は、スポーツ好き(一時野球をやっていた)の、総じて、秀才でもない、不良でも

ない、平凡な、高校生だったように思う。

ただ、ひとつ自慢できることは、誰でも仲良くなれたことだ。頭がよくて成績優秀な人、体育会系の人、ちよつとやんちゃな人、どんな人でもどんなグループでも溶け込んでいくことができた。多くいた、個性溢れる友人達が、時には喧嘩もしたが、自然体の今の自分を作ってくれたのかもしれない。

昭和41年西高を卒業して関西の大学に進学し、そして4年後、大和ハウス工業に就職が決まる。そんな矢先、入社間近になって父親が急に亡くなったのである。その上、1ヵ月後には自分自身が交通事故で死にかけ、母には本当に心配をかけた。

だから会社に無理を言って、配属先を、決まっていた東京から親元の新居浜に近い岡山に変えてもらった。当時会社社の規模も小さく、こんなわがままも通ったのだ。しかし私にとっては、

文字通り、背水の陣でのスタートという思いであった。

岡山支店では、「モーレッツ会社」の評判通り、営業から帰った先輩が夜遅くまでデスクワークをしていた。会社自体も成長の途にあり、夜遅くても皆生き生きとした感じで、まさに野武士が集まったような、「燃える軍団」の雰囲気だった。それがまた自分に合っていたのだろう。

私の父親は毎日決まった時間に帰宅するサラリーマンだったので、母親は私を何をしているのかよくいぶかっていたのを覚えている。

やがて、私も母親を岡山に呼び寄せ、家を見て、結婚した。あれから三十余年。高知、山口、広島、千葉、名古屋、東京と渡り歩き、今年から大阪本社で全社を引っ張る立場になった。会社も売上げ1兆円と大きく変わった。

自分では社長なぞ出来る器ではないと思っていたが、もしも私に天性の経営能力が備わっていたら、生来の負けず嫌いと、仲間意識が強く、また人を比較的公平に評価し、その人の個性、能力を上手く引き出す事が出来るという点かもしれない。

それは、それこそ西高時代に培われたものではないだろうか。心のふるさと新居浜にはもう私の帰る家はなくなくなってしまったが、新居浜がこれからも緑豊かな街で、我が母校西高が今後も心の豊かな人間を大勢輩出するよう心から願っている。

専門 花 活

たかはし生花店

高橋和雄

新居浜市田の上2-16-20
電話 0897-45-0084

「西高の思い出」



Profile

三好 潤子
(みよし じゅんこ)

昭和41年 普通科卒
昭和45年 東京女子大学卒
住友商事(株)入社
昭和61年 アビリティセンター(株)入社
平成2年 同社代表取締役役に就任
現在に至る。

同窓会誌の寄稿を依頼され、はるかに遠い昔の高校時代を思い出すことになりました。

驚いたことに今回、隣のページは同級生の村上君だそうだし、今年の3月迄長野君が同窓会長と、同期の懐かしい名前が並んでいました。高校時代が懐かしく思い出されます。

私達の高校時代の校舎は、隣の教室との間の壁もところどころ穴があき、階段や廊下は歩くとキシギシと音をたてているというようなどんでもなく古い建物でした。高校時代の私は、入学と同時に弓道部に初めての女子部員として入部しました。県内に女子弓道部があまりなかった時代でしたから、私達は、あつという間に全国大会出場なんてことになったりしたことも楽しい思い出です。

高校時代、男子生徒ばかりのクラスにいた反動で、大学は女子大を選びました。大学紛争の真っ只中でしたが、

なんとかか大学を卒業し、総合商社の〇しを経て結婚退職。専業主婦を13年、その間、息子が4人生まれました。食事を作っては片付け、日々洗濯、掃除に明け暮れるというどつぱり主婦業に浸かっていました。

「私の人生はこれで終わるのかな?」と少し寂しく思っていたところに、ふとした偶然から、当時できたばかりの人材派遣業に携わることになりました。初めての営業、初めての経理、初めてのパソコンとすべて初めてづくしで、今から考えると笑ってしまいそうなこととの連続でした。

でもそんなことを思い煩う暇もなく、何だかわからないうちに仕事が増え、支店が増え、気が付くと18年もたっています。世の中の移り変わる速度はますます加速し、人の流動化はますます進むでしょう。この数年で働く側にも企業の側からも人材サービスのニーズが認識されるようになってきました。

私達の仕事も人材派遣業、人材紹介事業、再就職支援事業、アウトソーシングと複合化してきています。働き方も多様化してきました。私達の会社ではキャリアアカウンセラーを配置して働きたい人、転職したい人の相談にのっています。

最近では、若年者の不労が大きな社会問題になってきています。決して「不景気で仕事がない」というわけではありません。若者達の「好きな仕事が見つかるまでじっくり探します。」が延々続いてしまうのです。若者達が仕事に就くまでをサポートすることも私達の大きな役割になりそうです。

「大阪や東京に支店をださないのですか?」と聞かれますが、全然その気はなく、ふるさと、四国で頑張っているかと思つています。私は、外国から人が来たり、外国へ働きに行くことがもつと自由になる日も近いと思つているので、そういったサポートができればいいなと相変わらず夢を追いかけています。

編集委員会から

アビリティセンター(株)
本社 新居浜市坂井町2-3-17
テレコムプラザ7階
松山・高知・高松・徳島に
オフィスあり
平成15年から愛媛経済同友会
副代表幹事

―― 鋳物で未来を開拓する ――

株式会社 藤田製作所

代表取締役社長 藤田秀一郎 (昭和55年卒)

株式会社プラント工業藤田 / 〒793-0046 愛媛県西条市港2-7 TEL(0897)53-8181・FAX(0897)53-8177
本社工場 / 〒793-0046 愛媛県西条市港1-2(西条鉄工団地内) TEL(0897)56-5373・FAX(0897)56-9240
西条東部臨海工場 / 〒793-0003 愛媛県西条市ひうち字西ひうち3番10 TEL(0897)56-4677・FAX(0897)56-4680

の 歩 み ダンス部

“舞” ~ 4分間に気持ちを込めて…~

主将 曾我部早紀



ダンス部だつて歴とした運動部なんです。皆さん、ダンス部を甘く見ていませんか。大会もちゃんとあります。2ヶ月までの人数構成、4分間の演技時間の中で自分達の作品を発表します。作品づくりは、テーマの設定から始まり、曲、踊りの構成、振りなど、すべて自分達で考えます。ここ数年の西高は新人戦、総体の東予大会では一位を独占し、県大会でも入賞というすばらしい成績を残しています。

しかし、先輩方が残した成績は私達には重すぎました。なぜなら、新人戦に二年15人出場することに決めたものの、15人中9人はダンス未経験、うち4人は今回の大会がはじめての舞台でした。そんな中ではじまった作品づくりは、テーマ設定の時点で行き詰まりました。いろいろ候補は出るのだが、どれもいまいちで具体的な表現内容には結びつかず、テーマ決定までにかかり時間もかかりました。それは曲づくりでも同じでした。一体、何枚のCDを聞いたことでしょうか。毎日、頭が痛くなるぐらいの数を聞きました。でも、一番大変だったのは、やはり踊りをつくることです。「創作ダンス」というのは、バレエでもなく、ジャズでもなく、自分達で動きを創り出さなくてはなりません。一日中考えて一秒も進まない日もありました。この時の私達は体力的疲れよりも精神的疲れのほうが大きかったかもしれません。大会が近づくとつれ、部活は朝練からはじまり、放課後などの部活よりも遅くまで残って練習しました。しかし、私達の作品が完全に出来上がったのは大会3日前。残りの2日間で私達は、朝から夕方まで、ずっと踊り込みました。みんなの体はもうボロボロでした。そして、むかえた本番当日。会場は西高。私達はプログラム一番でした。テーマは「音は音を呼ぶ」ピアノから広がる無限の音を表現しました。自分達の出番までは、不安や緊張で胸が張り裂けそうでした。いざステージに立ち、曲がかかる4分間は、あつという間でした。でも私達はその4分間に自分達の今までのすべての思いをぶつけました。そして、結果発表。「第一位…新居浜西高校」。私達は跳び上がりました。みんなの顔は喜びと涙でいっぱいでした。私も二年全員の力で一位を取ることができて、西高のダンス部の伝統を受け継ぐことができて本当にうれしかったです。県大会でも私達は6位に入賞することができました。しかし、この結果に私達は決して満足することはありませんでした。



そして、三年になった今、私達は最後の大会である総体をむかえています。今回は、みんなで話し合った結果、今の自分達を表現しようということになり、テーマは「存在理由」今、自分。作品づくりに入って私が感じたことは、新人戦のときより、みんなの技術、表現力ともに上達していたことです。でも、また新しい作品を一からつくり上げることは本当に大変なことでした。「創作ダンス」の難しさを改めて知らされました。でも、今回の作品は一人一人が意見を出し合つて出来た自信作だと私は思っています。そして、四月二十九日に行われた東予大会で、私達は再び一位を取ることができました。今年からはなんと東予大会でも優勝カップが作られ、私達はその第一号です。(これからもずっと西高にこの優勝カップがあることを期待してるよ!!)残すは県大会だけです。新人戦のときより、一つでも順位を上げられるように、いや、志は高く、県での優勝カップを目指して、残り少ない部活動生活の練習に励んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、顧問の岡野先生をはじめ、私達に一人からダンスを教えて下さった先輩方、全員の衣装を作つて下さった笑理ちゃんのお母さん、容子さんには本当に感謝しています。県大会では、全員が一丸となり、楽しんで踊りたいです。一秒一秒、一つ一つの動きに気持ちを込め、最高のステージにしてみせます。

CHALLENGE & ACTION

配管機材及住宅設備機器 環境機器の総合卸

有限会社日鋼管材
 〒792-0033 愛媛県新居浜市横水町7番15号
 TEL:(0897)40-1831(代表)
 FAX:(0897)41-3448
 e-mail:nikkoh@nbn.ne.jp

株式会社日鋼今治
 〒794-0063 愛媛県今治市片山1丁目9-2
 TEL:(0898)24-7120
 FAX:(0898)24-7121
 e-mail:nikkoh-imabari@soleil.ocn.ne.jp

代表取締役
近藤 隆茂
 (昭和31年卒)

華道部

活動部

「心を生ける、個性を生ける」

部長 春日 誠

私達華道部は、部員男子一名、女子六名と少人数ながらも、楽しくそして真剣に活動しています。毎週水曜日の放課後、小原流講師の井上和子先生の御指導のもと、華道を学んでいます。

井上先生は、県でも屈指の華道家で、大変お忙しい中、もつと多くの若い人たちにも華道に関心を持ってほしい、という強い信念をお持ちになり、スケジュールの合間を縫って足を運んで御指導くださっています。

週に一回、という数少ない活動時間でも、着実に上達することができます。それはやはり、丁寧かつわかりやすく、その上、ユーモアあふれる井上先生の楽しい御指導があつてこそその結果だと思えます。それまであまり花や華道に触れたことがない人でも、すぐに興味を持つことができ、飽きることなく続けられます。

実際に「花を生ける」ということは、思いの外難しく、剣山に花を差すだけでも大変で、さらに花の種類によって切り方も異なってくるので、最初は誰もが四苦八苦してしまいます。だんだん慣れてきて、先生のお手本を真似ることが多少出来るようになって、私達が生けたものに先生が手を加えてくださると、花全体が生き生きとして全く違う風情を持つものになってしまふのです。

しかし、その繰り返しによって、

次第に各自の個性を帯びた形に生けることができるようになっていきます。

先生が生ける花は、いつもとても華やかで、またその中にどこかすつきりと凛としたところがあり、引き込まれるような美しさを感じます。一步でも、先生の生け花に近づきたいと思ひながら、私たちは日々練習に励んでいます。

「華道」は日本を代表する文化の一つです。国際交流の場において、我が国を理解してもらうために、とても重要な役割を果たすことができるのではないかと考えます。

自分自身、もし将来機会があれば、外国の人々にもこの素晴らしい日本文化を伝えていきたいと思っています。そのためにも更なる技術の向上が必要です。

しかしそれだけでは、美しい花を生けることができません。「華道」とは、生け花の技術習得を通じて、人間形成を図っていくことに本質があります。生ける者の心が豊かであれば、技術だけでは見えない私たちの心をとらえることのできる作品は生まれません。

豊かな感性を育み、人間性を深めていけるよう、毎日の生活のさまざまな場面で努力していこうと思ひます。

華道部の日頃の活動を発表する場は、年に一度の西高祭です。記念会館の2階を会場とし、各自が

選んだ個性あふれる花を思い思いの形でのびやかに生け、展示しています。地域の方々や保護者の人たち、先生方や多くの生徒たちにも楽しんで見ていただくため、くじを用意して、カーネーションやバラのミニ花束を100人にプレゼントするなど工夫もしています。

生けられる花が「美しくもらつてありがとう」と喜んでくれるような「華道」の在り方を目指し、顧問の谷口先生・渡辺先生と共に、七人の部員それぞれ、これからも頑張つて続けていきたいと思つています。



医療法人 松木歯科 クリニック

理事長 松木 建二 (昭和46年卒)
KENJI MATSUKI

MDC
Matsuki Dental Clinic

〒792-0026 愛媛県新居浜市久保田町3丁目10-3
Phone 0897-32-3700 Fax 0897-32-7484
H・P 090-1009-1911
E-mail porsche@dokidoki.ne.jp

母校の概況

Nihama-Nishi High School

▼魅力ある進学校を目指して

校長 藤原 恵



樟樹会の皆様におかれましては、ご健勝のご活躍のこととお喜び申し上げます。日頃から、母校の教育諸活動に対してご

支援を賜っており、厚くお礼を申し上げます。特に今年は、長く同窓会長を務めていただきました長野文彦様のご退任されます。長野様には格別のご理解とご協力をいただき、学校運営を安心して行うことができました。ここに、衷心より厚く感謝申し上げます。また、新会長の畑田雅敏様には、この春までPTA会長としてお世話になっており、引き続きましてよろしくお願いたします。

さて、昨年本校に赴任して以来、同窓生の皆さんが築き上げてこられた歴史と伝統をより充実発展させ、期待に恥じないようにと肝に銘じ、学校改革に取り組んで参りました。本日はその一端をご説明申し上げます。

一 学校運営の基本方針

○本校における四つの課題の克服に努めます。

- ・進学校としての実績が十分ではない。↓
- ・難関大学や国立大学の合格者が少ない。↓
- ・学習不振者が多い。↓
- ・不登校生や退学者が予想以上に多い。

・基本的な生活習慣が身に付いていない。↓
挨拶や服装が十分でなく、遅刻や欠席等も多い。

・中学校に十分に理解されていない。↓
新居浜市のみならず、周辺からの優秀な生徒の集まりが十分ではない。

○魅力ある進学校を目指しています。

本校に対する地域の方々や生徒の期待は、行きたい大学に合格する進学校になることと同時期に、心豊かで逞しい生徒に育つことも期待されています。つまり、「真のエリート」の育成が本校の責務です。「魅力ある進学校」とは、確かな学力と逞しさを育てる学校のことです。そのために、今年度は多くの改善策を具体的に実施しています。

○魅力ある進学校の特色を明確にするため、具体的な数値目標を示しています。

- ・難関大学合格者 ↓ 20名以上
- ・国立大学合格者 ↓ 70%以上
- ・遅刻・欠席者 ↓ 各学年一日平均それぞれ五名以下
- ・退学や休学者 ↓ 年間それぞれ五名以下

二 主な実施事項

○「二期制四五分七時間授業」を実施しています。

二期制は四年目になりますが、また三期制が生徒・教職員の中に染み付いており、その良さが十分に出ていませんので、徹底を期します。また、授業時間の確保と機能的な時間割編成、授業内容の見直し等のため、四分七時間授業を実施しました。

○「数学と英語で習熟度別学習」を一部導入

しています。

本校は、県下の進学校の中でも学力差が大変大きいといえます。現在は東大・京大へ行く生徒と国立大学も到底望めない生徒が共に学習しています。共に授業で力を発揮していません。本校の生徒や保護者にはプライドがあり、習熟度別学習や学級編成には敏感で、拒否反応を示す方も多いのですが、分かる授業を実施して、各生徒がそれぞれ行きたい大学に合格するためには、習熟度別学習は不可欠だと考え、実施に踏み切りました。

○「学習レインズ」を徹底しています。

中学時代にはあまり家庭学習をしなくても、よい成績をとっていた生徒が多いようです。高校三年間で行きたい大学に合格するためには、予習をはじめ家庭学習の習慣化と適切な学習方法を身に付けることが不可欠です。これまで学習に対するレインズが不十分であったため、一年早々から成績不振に陥る生徒も多いという反省から、学習レインズに力を入れています。

○学校設定科目（一六科目）を実施しています。

各学校の裁量で、生徒の能力や進路希望に合致した内容の教科科目が設定できる制度を活用し、本校独自に一六科目を設定し、二六講座に分かれてきめ細かな指導を実施しています。

以上、学校運営方針等の一端を申し述べましたが、すばらしい素質と能力を持っている生徒を、礼儀もきちんとでき、欠席も少なく、そして全員が行きたい大学に合格するような西高に再生したいと教職員一致団結して努力する所存でございます。今後とも同窓生の皆様のご支援・ご鞭撻のほど重ねてお願い申し上げます。

▼教職員の異動

平成16年度の教職員異動は次のとおりです。

(教科) (転出者) (転入者) (前任者)
教頭 酒井 正文 大洲 嶋屋 隆夫 異動
国語 近藤 都 小松
地公 白石 由和 退職
地公 赤壁 一彦 三島 嶋崎 勇人 丹原
地公 山中 孝重 埋七 山下 賀喜 松西
地公 古見総一郎 新南中 志賀 紀世 宇南
数学 石村 健二 川江 藤田 和生 西条
理科 藤田 栄二 大三 門田 将和 三崎
英語 安永 由緑 東温
家庭 後藤 一美 土居 町野 博子 今北
家庭 藤岡 英子 丹原 河野智恵美 (新採)
事務 徳永 博子 東温 辻 洋行 松南
事務 小山 恒和 宇野 鈴木 博幸 三島

▼16名の同窓生が母校の教壇に立つ

(氏名)	(卒業年)	(教科)
齋藤美智子	S 39	実習助手
中野 静江	S 45	実習助手
塩崎 勇人	S 46	地公
松本 温子	S 46	英語
石川美千子	S 47	国語
鴉 裕子	S 49	国語
岡田 緑	S 52	養護
井上 邦智	S 55	国語
渡辺 夏実	S 55	国語
星加 修史	S 58	保健
星加 啓子	S 60	英語
五味 稔	S 61	数学
松長 健治	S 62	数学
井川 紀英	S 63	英語
山中 達也	H 2	国語
藤田 和生	H 6	理科

山田・志賀ペアインターハイ!!

(ソフトテニス部男子)



6月4日〜7日にかけて、県高等学校総合体育大会が松山市を中心に開催され、本校からも192名の生徒が参加し、各競技で活躍した。主な結果は以下の通り。

平成16年度県高等学校総合体育大会成績

◆水泳

男子 総合5位

- 50 m自由形 ②小塚 25秒26
- 100 m自由形 ⑤小塚 26秒57
- 100 m自由形 ①小塚 55秒54
- 200 m自由形 ⑤村川 58秒77
- 200 m自由形 ②太田 2分06秒57
- 400 m自由形 ⑤阿部 2分08秒79
- 400 m自由形 ⑤太田 4分29秒07
- 200 m個人メドレー ④阿部 2分24秒54
- 800 mリレー ③新西 8分28秒49

(天田、村川、阿部、小塚)

女子 総合3位

- 200 m自由形 ②富我部 2分16秒43
- 400 m自由形 ①富我部 4分54秒14
- 100 m平泳ぎ ①高津 1分18秒67
- 200 m平泳ぎ ①高津 2分48秒80
- 100 m背泳ぎ ⑤中村 1分15秒28
- 200 m背泳ぎ ⑤中村 2分41秒95
- 200 m個人メドレー ①秦 2分25秒27
- 400 m個人メドレー ①秦 5分05秒55
- 400 mメドレーリレー ②新西 4分48秒06

(秦、高津、伊藤、富我部)

◆陸上競技

女子100 m 飯尾 12秒72

(四国大会出場)

◆バスケットボール

- 男子1回戦 新西55-102松江
- 女子1回戦 新西51-44東温
- 2回戦 新西37-101済美

◆バレーボール

- 男子1回戦 新西0-2丹原
- 女子1回戦 新西2-0三崎
- 2回戦 新西2-0宇和
- 準々決勝 新西2-1野村
- 準決勝 新西0-2聖力
- 3位決定戦 新西1-3松中

(女子は四国大会出場)

◆バドミントン

- 男子団体 新西3-0松中
- 2回戦 準々決勝 新西3-1松南
- 準決勝 新西1-3上浮
- 女子団体 (男子団体は四国大会出場)
- 1回戦 新西3-0大島
- 2回戦 新西3-0松西
- 準々決勝 新西0-3新田

◆ソフトテニス

- 男子団体 新西2-1野村
- 1回戦 2回戦 新西2-1西条
- 準々決勝 新西0-3済美
- 男子個人 ベスト8 山田・志賀ペア

(四国大会および全国大会出場)

女子団体

- 1回戦 新西3-0愛村
- 2回戦 新西2-1野村
- 準々決勝 新西1-2聖力

◆テニス

- 男子団体 1回戦 新西1-2北宇

◆卓球

- 男子団体 1回戦 新西1-3松中
- 女子団体 1回戦 新西1-3伊予

◆サッカー

- 男子2回戦 新西0-0松南 (PK4-2)
- 準々決勝 新西3-1愛光
- 準決勝 新西0-1小松

◆ハンドボール

- 男子2回戦 新西13-15新工

◆剣道

- 男子団体 1回戦 新西1-3宇東

◆弓道

- 女子団体予選 10位

◆創作ダンス

「存在理由」今、自分」6位



ヘルシー! ビューティー! 創造ボディー!
健康生活応援します。

本部だより

〔平成16年度事業計画（案）〕

- | | |
|--------|--|
| 3月29日 | 樟樹編集委員会 |
| 4月21日 | 会計監査（平成15年度会計帳簿類） |
| 5月14日 | 樟樹編集委員会 |
| 5月26日 | 第一回常任理事会 |
| 6月7日 | △平成15年度事業報告△平成15年度会計決算報告△平成15年度会計監査報告△平成16年度役員改選△平成16年度事業計画案審議△平成16年度予算案審議△その他 |
| 6月24日 | 樟樹編集委員会
樟樹編集委員会
第二回常任理事会 |
| 7月15日 | △平成16年度総会の準備について
（総会の議事内容、運営方法、会員券の販売、招待者、チラシ、ポスター等）
△その他 |
| 8月7日 | 「樟樹」15号発行
総会・懇親会 |
| 10月26日 | △平成15年度事業報告△平成15年度会計決算報告△平成15年度会計監査報告△平成16年度役員改選△平成16年度事業計画案審議△平成16年度予算案審議△その他 |
| 1月下旬 | 〔西高祭〕参加 |
| 2月上旬 | 第三回常任理事会 |
| 2月下旬 | △平成16年度反省及び平成17年度の予定△役員構成について△その他 |
| 3月上旬 | △平成16年度の反省及び平成17年度の予定△役員構成について△その他
同窓会入会式（新会員へ入会記念品贈呈）
同窓会賞授与（全日制2名 定時制1名） |

平成15年度 総 会

毎年恒例の、樟樹会総会・懇親会が平成15年8月9日（土）、リーガロイヤルホテル新居浜で開催されました。この日、井石久美子さん（平成12年卒）による大変珍しい鍵盤楽器「チェンバロ」の賛助演奏があり、約300名の会員の方々も楽しいひとときを過ごしました。



西 高 祭

平成15年7月4日の西高祭で、同窓会がバザーを出店し、合格たこ焼き、合格焼きそば、フランクフルト、ラムネを調理・販売し、大盛況のうちに、無事終了しました。

また、同窓生を中心に活動している「日本のお手玉の会」主催によるお手玉遊び大会も、記念会館1階ロビーにて開かれました。

— 総会および懇親会のご案内 —

日 時 8月7日(土) 総会 17時30分開会 懇親会 18時30分から
場 所 新居浜市泉宮町5-8 ユアーズ
懇親会チケット発売中 (3,000円)

当日も受け付けます。お気軽にご参加下さいますようお願いしております。

会員からの便り

我が母校、西高

鈴木 健二(昭和38年卒)

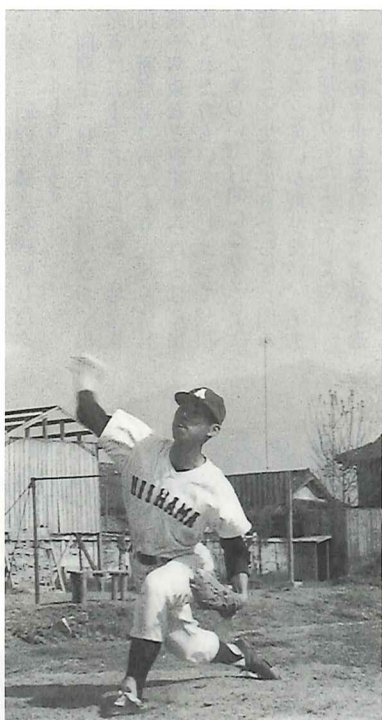
幸運にも、会誌「樟樹」の原稿を書かせていただいた事に感謝致します。私が西高を卒業した年に誕生した男性の方は、今年42歳のお祝いを迎えることとなりました。永いようで短かった年月を重ね、とうとう私も還暦です。

西高を卒業してから学生時代、サラリーマンと20年間、大阪・東京で過ごし、その後Uターンして新居浜に帰ってきてもう21年が経ちました。つくづく故郷の良さを堪能しております。

西高時代私は野球部に所属していました。部員はわずか各学年5人ずつくらいで、今では想像も出さないくらい不自由しておりました。

3年生が卒業すると、新チームが編成され、新人戦が始まると、テニス部やバスケット部、バドミントン部の部員を誘って、大会に参加した事を思い出します。私の同期生で高校最後まで野球を続け

たのは3名だけでしたが、それなりに厳しい練習をし、ボールが見えなくなるまで、グラウンドを駆け回っていました。部員全員がいわゆる「野球バカ」であったと思います。ちなみに在籍していた3年間の勝率は、3割…いや4割く



らいだったかな？

Uターンし、新居浜に帰ってきた時から、大学、社会人と野球を続けてきた私にとって、やはり母校の野球部の事は、人一倍気になる場所でした。そこで、昭和59年に野球部OB会を設立し、充分とはいえませんが、陰ながら支援

し、声援を送って現在にいたっています。

特に一昨年は、1回戦から準々決勝戦までの4試合すべて、サヨナラ勝ちをした時には、自分のことのように喜びました。この快挙は、夏の大会ではおそらく初めての事で、高校野球史に刻まれることと思います。私は地元のケーブルテレビで夏の大会の解説をさせてもらっているのですが、準決勝までの5試合すべて解説しながら、応援をしていました。

松山聖陵高校に負けはしましたが、『ミラクル西高』の名を県下はもとより、全国にも知らしめた事と思います。

毎年感心していることは、大変見事な試合での応援です。私も夏の応援を見ってきましたが、なんと言っても、身びいきでなく西高の応援が県下一だと自信を持って言えます。何台もバスをつらねて球場へ駆けつけ、選手と一丸となつて、炎天下の中、一生懸命の応援をしていると、鳥肌が立ってきて興奮してくることもしばしばです。私たちの頃を思い出してみると、親兄弟、親戚の人、一部のクラスメイト、数人の先生方、そして選手の彼女!!今ではとうてい想像も出ないような寂しい応援での大会参加でしたから、うらやましい限りです。運動会の応援合戦においても、私達の時とはあまりにも違い、時の流れというものをつくづく感じています。

創立以来80有余年の歴史を刻みつつ、県下有数の進学校として、文武両道の道を歩んできた新居浜西高、その伝統を引き継ぎ、2017年には100周年を迎える母校の教師、後輩の生徒達が一体となり、励んでいる姿には頭の下がる思いがしています。



四国プロパンガス株式会社

取締役 高尾 智 幸 (平成4年卒)

〒792-0050 新居浜市萩生719-1

TEL (0897)43-3333(代) FAX (0897)40-4127

お届けします。より安全にかつ安定したLPガスを!

同期会便り

明るい笑顔の中で

同期会幹事代表 三木 郁代
 (新居浜高女 昭和23年卒
 新居浜西高 昭和25年卒)

前日まで降り続いてきた雨が嘘のように、見事に晴れ上がった五月晴れの空の下、昭和二十三年新居浜高女卒・昭和二十五年新居浜西高卒の同期会が開催されました。平成十六年五月十四日、会場の道後温泉旅館「ふなや」の庭は、木々の緑が一段と濃くなり、五月の陽光にきらきらと輝き、二年振



りの再会の喜びに湧く私たち同期生の笑顔があふれておりました。

戦後の学校制度改革の節目、新居浜高等女学校が男女共学の高等学校になり、一時は現在の新居浜工業高校と合併し新居浜第二高校となりましたが、その後間もなく新居浜西高となりました。丁度新居浜西高創設時に学生として過ごした私たちは、新居浜高女卒業の二年後に新居浜西高を卒業するという、二回の卒業式を経験したクラスメイトもいます。

同期生二百五十九名のうち、出席者は五十三名でしたが、地元松山・新居浜はもとより、遠くは札幌や関東など遠来からはるばる出席された方もいらっしやうて、和やかに楽しい二日間になりました。皆若々しく生き生きとして、明るい話し声と笑いが飛び交い、学生時代に逆戻りしたようでした。

卒業後半世紀を経て、古希を過ぎた今では遠い昔となりましたが、新居浜高女・新居浜西高で過ごした学生時代は懐かし、思い出深く、楽しかったことも苦しかったことも、今話題に上ればそれらは又笑いの渦です。

地球上を見渡せば、不穏な社会情勢や様々な問題がいつもどこかで起きており不安はつきませんが、大いに語り、大いに笑いあつたひとときを共有した同期会の参加者は、また明日からの大きな糧を得たことでしょう。

再会を約束して帰路に向う後姿は、尚一層元気に溢れていたように思います。

29(じゅう)の会

西高卒業50周年同期会開催

友澤 正思(昭和29年卒)

卒業50周年を記念して遠くは新潟、千葉、名古屋、奈良、京都、大阪そして九州から、貧しかった



けれど夢いっぱい輝いていた高校生活の思い出を胸に、60人も元西高生が集まりました。男子28人、女子32人、新居浜在住25人、外35人でした。前回全員で集まったのは30周年の時ですから、それからではや子供の成人に十分な20年の年月が経っています。しかし皆元気で古希も間近とは思えない若々しきで、精一杯語り合い笑い合ってきた一つ共通の思い出を積み上げることが出来ました。この50周

年という特別で、そして全員に呼びかけるには最後の機会となるかもしれない同期会を企画し、準備してくれたのは新居浜在住の世話人たち12人です。打ち合わせの為に7回も集まってくれたそうで、本当に有難く感謝しています。

「そして同期各位・・・当日は地元松井ということで本宮先生が飛び入り参加してくださいました。また帰途お訪ねした仁田先生は卒寿を迎えられ、変わらぬ温顔で長閑な日々を重ねておられましたゾ。」

成人式と同期会

貝出 千絵(平成14年卒)

成人式を迎えたその日、私たちは再会した。西高を卒業してから、あつという間のような気がしていたが、集まってくれた皆の少し大人びた雰囲気、過ぎ去った時間



第18回ミス花嫁候補大募集!

とき 平成16年9月5日(日)
PM6:00~PM9:00

ところ レイグラッセ ふじ
2F:大ホール



豪華プレゼント!! 企画多数あり

- 1.ミス花嫁 1名 沖縄旅行+賞金3万円
- 2.準ミス花嫁 2名 沖縄旅行



多数のご応募をお待ち致しております。

ふじ

住所 新居浜市高木町3-2
電話 (0897)34-2211
FAX (0897)34-0579
<http://wpuji.com>

を思った。中には誰だか分からな
いほど変わった人もいて、受付前
には、ちよつとしたよめきが起
こっていた。会場内で並んで語り
合う顔が本当に懐かし、何より、
予想以上に多くの参加があったこ
とが何より嬉しかった。高校3年
間でかけがえのない仲間に出会
えた喜びを、改めて実感すること
ができた。大した企画も出来ず、ひ
たすら自由に過ごして頂いた中で、
たくさんの方の笑顔を見つけては、「ま
たいつか節目の時にこうして会
えたら」と思いつつ、会はお開きと
なった。忙しい中参加してくださ
った皆様、同窓会開催にご協力頂
いた皆様、本当にありがとうございます
でした。またお会いできる日ま
で、どうかお元気で。

第9回近畿くすのき会 (加藤幸則会長) 総会開催

6月5日、12時から大阪全日空
ホテルで、近畿地区新居浜西高卒

業生50名が集い、第9回総会及び
懇親会が開催された。
懇親会では、招待された寺岡政
晴先生のご挨拶があった。
本部からは、畑田新会長・藤原
校長・世良顧問・工藤理事の4名
が出席した。



報 計



同窓会顧問で元会長の、下村 隆勇氏(昭和30年普通科卒)
が、平成15年9月7日にご逝去されました。(享年67歳)

下村氏は、会誌「樟樹」を創
刊するにあたり大変ご尽力を賜
りました。
謹んでご冥福をお祈りいたし
ます。

同期会のお知らせ
あなたのご出席楽しみに待っています!

西高34会総会・懇親会

”帰ってこいよ、新居浜祭りへ“
日時 2004年10月16日(土) 午後4時
場所 リーガロイヤルホテル新居浜

会費 12,000円

連絡先 小林 康宏

TEL 0897-33-4781
E-mail ykoban@ma.akarai.ne.jp

昭和38年卒同期会

日時 2004年10月16日(土) 午後5時(予定)
場所 リーガロイヤルホテル新居浜
連絡先 桑原 征一

TEL 0897-35-1111

昭和42年卒同期会

日時 2004年8月13日(金) 午後6時30分
場所 リーガロイヤルホテル新居浜
会費 8,000円位
連絡先 山内 仁

TEL 0897-33-4756

昭和49年卒同期会

日時 2004年8月14日(土) 午後6時
場所 ウエディングパレスふじ
連絡先 加地 由照

TEL 0897-32-2315

編集後記

早いもので創刊号から14年が経過し、15号の発刊に
たりました。皆様の温かいご支援により今号も発刊でき
ますこと、深く感謝申し上げます。

この「樟樹」の生みの親であり、育ての親でもある下
村元会長の急逝には驚きました。(前号の反省会が昨年
8月22日にあり、下村さんも出席くださり、ワイワイや
った直後でしたから)

下村同窓会長時代に、「本校には同窓会誌がない、是
非発刊したい。」とのことでご尽力くださり、世良会長
に替わった年に創刊号が発刊しました。以後、ずっと編
集委員に加わっていただいております。

今年から畑田新会長になり、編集委員会にも参加いた
だいております。新会長には、今号発刊にも多大のご協
力をいただきましたが、すべての面で非常に意欲的で、
活発に取り組んでおられますので、今後の同窓会活動が
ますます発展することと思いますが、会誌「樟樹」もそ
の活動の一助になればと励む所存です。

編集委員長 近藤 博司(昭44)

- 委員 藤本スマ子(昭18) 近藤 司(昭42)
井上 和子(昭20) 畑田 雅敏(昭44)
世良 賢克(昭26) 伏見 紀子(昭44)
武田 信之(昭28) 中野 静江(昭45)
安藤 正純(昭30) 渡邊 寛和(昭55)
藤田 石根(昭31) 安藤 寛和(昭55)
桑原 征一(昭38) 井川 紀英(昭63)
長野 文彦(昭41) 越智 孝司(平2)

発行所 樟樹会

〒792-0024
新居浜市宮西町4-46
TEL 0897-32-4333
FAX 0897-32-4331

発行者 畑田 雅敏
編集者 近藤 博司
印刷所 株式会社サラト
発行日 平成16年7月15日